بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 28 巻

ハイレッディン・バルバロッサ

オスマン帝国の大提督、プレヴェザの英雄 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

رَّبُّكُمُ ٱلَّذِى يُزْجِى لَكُمُ ٱلْفُلْكَ فِى ٱلْبَحْرِ لِتَبْتَغُوا۟ مِن فَضْلِهِۦٓ ۚ إِنَّهُۥ كَانَ بِكُمْ رَحِيمًا ﴿٦٦﴾

「主こそは船をあなたがたのため海に航行させ，かれの恩恵を求めさせる方である。本当にかれは，あなたがたに対しいつも慈悲深くあられる。」

夜の旅章 17:66

Hj Che Alim Hj Che Haron

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

しもべたちがその恵みを求めるよう、海に船を走らせてくださるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善くその道に従った人々 — オスマン帝国の大提督ハイレッディン・バルバロッサもその一人です — に祝福と平安がありますように。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 28 巻は、ハイレッディン・バルバロッサの生涯を語ります。兄オルチ・レイスの戦いを受け継ぎ、アルジェをオスマン帝国の保護下に置き、その港をスペインの要塞から解放し、1538 年にプレヴェザで神聖同盟の艦隊を破った人物です。プレヴェザの艦船の数、沿岸の捕虜の運命、フランスとの同盟も含め、史料について誠実に語っています。この知識が「イルムン・ユンタファウ・ビヒ」 — 役に立つ知識となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは、1538年9月末、嵐が過ぎた朝のイオニア海の***プレヴェザ湾***です。黒い嵐の雲が割れはじめ、金色の陽光が青空から差し込んでいます。

海の中央には、長い櫂と風をはらんだ三角帆を持つ***オスマン帝国のガレー船の艦隊***が***三日月の陣形***で進んでいます — プレヴェザの海戦におけるハイレッディンの艦隊の陣形を思い起こさせます。

左側には、糸杉とオリーブの木が茂る緑の岩の岬の上に、湾の入り口を守る丸い塔を持つ***石の要塞***がそびえています。水平線には、霞の中で散り散りに退却する***敵の船***が見えます。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています — 『イスラームの英雄』のすべての表紙がそろうよう、第 1 巻から第 27 巻までの表紙と同じです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

ハイレッディン・バルバロッサ 5
1. ハイレッディン・バルバロッサとは誰か 6
2. ミディッリ島のヒズル 7
3. 北アフリカでオルチとともに 8
4. アルジェをオスマン帝国の保護下に 9
5. ペニョン要塞とアルジェ港の解放 11
6. アンダルスのムスリムのための七度の航海 13
7. カプタン・デルヤ：オスマン帝国の大提督 14
8. チュニス：勝利と敗北のあいだ 16
9. 沿岸襲撃と捕虜の運命 17
10. プレヴェザの海戦 19
11. ヴェネツィアとの条約 21
12. アルジェの嵐（1541 年） 23
13. ニースとトゥーロン：フランスとの同盟 24
14. 回想録、ワクフ、マドラサ 25
15. 死去とベシクタシュの霊廟 27
16. 検討が必要な話と数字 28
17. ハイレッディンの物語の典拠 29
18. 人物、場所、年表 31
19. ハイレッディン・バルバロッサについてのよくある質問 33
20. 教訓と結び 35
参考文献 36
支援と寄付 37

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

ハイレッディン・バルバロッサ

1518 年、オルチ・レイスはトレムセン近郊で殉教し、アルジェのムスリムたちはスペインから自分たちを守ってくれた指導者を失いました。多くの人は戦いが終わると考えました。しかし弟の***ヒズル***が立ち上がってそれを受け継ぎ、25 年のうちに地中海で最も恐れられる提督となりました。

彼は***ハイレッディン***（「宗教の善」）として知られ、ヨーロッパ人は彼を***バルバロッサ***と呼びました。アルジェをオスマン帝国の保護下に置き、その港をスペインの要塞から解放し、オスマン帝国の***カプタン・デルヤ***（大提督）に任じられ、1538 年の***プレヴェザの海戦***でヨーロッパ連合艦隊を破りました。

この電子書籍は『***イスラームの英雄***』シリーズの第 28 巻で、第 27 巻の兄の物語の続きです。ハイレッディンの生涯は主に、彼自身が書かせた『ハイレッディン・パシャ戦記』と、彼に敵対したヨーロッパの史料から伝わっています。プレヴェザの艦船の数、イタリア沿岸の住民の捕縛、トゥーロンでのフランスとの同盟も含め、どの話も出典と等級を誠実に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

ハイレッディンの物語は、兄の戦いを止めさせなかった弟の物語であり、海をウンマ（共同体）の城壁とした船乗りの物語です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハイレッディン・バルバロッサとは誰か

本名は*ヤークプの子ヒズル*で、ヒジュラ暦 883 年（西暦 1478 年）ごろ、エーゲ海のミディッリ島（レスボス島）で生まれました。オルチ・レイスの弟で、ヒジュラ暦 953 年（西暦 1546 年）にイスタンブールで亡くなりました。

兄の殉教後、彼はアルジェを率い、のちにスレイマン 1 世（壮麗帝）によってオスマン艦隊の大提督に任じられました。彼の指導の下、東地中海は数十年にわたりオスマン帝国の船が支配する海となりました。

名前と称号

名前・称号	説明
ヒズル	本名
ハイレッディン	「宗教の善」；オスマン帝国のスルタンと結びつけられる称号
バルバロッサ	「赤ひげ」；兄から受け継いだヨーロッパでの呼び名
カプタン・デルヤ	オスマン艦隊の大提督（1533 年）
ベイレルベイ	アルジェおよび諸島の総督

教訓

良い名前は預かりものです。「宗教の善」という称号は、その持ち主に行いを名前にふさわしいものとする努力を求めます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ミディッリ島のヒズル

歴史ノート：提督となった末弟

ヒズルは、ミディッリ島のオスマン騎兵ヤークプ・アーの三男でした。兄たちと同じく、船と海とともに育ちました。『戦記』によれば、彼は初め小さな船でエーゲ海の周辺に物資を運ぶ商売をしていました。

兄オルチがロドス騎士団に捕らえられ、弟イルヤスが殺されたのち、ヒズルは兄の身代金のために奔走し、やがて西地中海で兄に合流しました。それ以来、兄弟はともに戦いました ― オルチが指導者、ヒズルがその忠実な補佐役として。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

兄に対する弟の忠誠は力です。善において協力する者は、一人で歩む者よりも強いのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

北アフリカでオルチとともに

歴史ノート：1504〜1518 年

ヒズルはオルチとともにチュニスとジェルバ島を拠点とし、アンダルスのムスリムを北アフリカへ運ぶのを助け、ジジェル（1514 年）を取り、アルジェを解放しました（1516 年）。1517 年にオルチがトレムセン遠征を率いたとき、ヒズルはアルジェの防衛のために残されました。

この共同の戦いの物語は第 27 巻（オルチ・レイス）で語られています。1518 年にオルチが倒れると、指導の重荷のすべてが、当時 40 歳ほどのヒズルの肩にかかりました。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

今日の忠実な補佐役は、明日の指導者になりえます。責任を担う準備は、他の人がそれを担うのを助けるときに始まります。

アルジェをオスマン帝国の保護下に

歴史ノート：1519 年

オルチの殉教後、アルジェは敵に囲まれていました。オランとペニョン要塞のスペイン軍、そして反乱を起こす地元の首長たちです。ヒズルは重大な決断を下しました。イスタンブールの***セリム 1 世***に使者を送り、アルジェをオスマン帝国の州として差し出したのです。

セリム 1 世はこれを受け入れ、ヒズルをアルジェの***ベイレルベイ***（総督）に任じ、大砲と約 2,000 人のイェニチェリを送りました。この決断によって、ヒズルは独立した支配者の地位を捨て、より大きなイスラームの国家の保護を選びました。賢明な政治判断と見る歴史家もいれば、誠実さの表れと見る歴史家もいます。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』；トルコ宗務庁財団『イスラーム百科事典』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

あらゆる決断の背後にある意図を知っておられるのはアッラーだけです。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1 番

حَدَّثَنَا الْحُمَيْدِيُّ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ الزُّبَيْرِ ، قَالَ : حَدَّثَنَا سُفْيَانُ ، قَالَ : حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ سَعِيدٍ الْأَنْصَارِيُّ ، قَالَ : أَخْبَرَنِي مُحَمَّدُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ التَّيْمِيُّ ، أَنَّهُ سَمِعَ عَلْقَمَةَ بْنَ وَقَّاصٍ اللَّيْثِيَّ ، يَقُولُ : سَمِعْتُ عُمَرَ بْنَ الْخَطَّابِ رَضِيَ اللَّهُ عَنْهُ عَلَى الْمِنْبَرِ، قَالَ : سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ، يَقُولُ : " إِنَّمَا الْأَعْمَالُ بِالنِّيَّاتِ، وَإِنَّمَا لِكُلِّ امْرِئٍ مَا نَوَى، فَمَنْ كَانَتْ هِجْرَتُهُ إِلَى دُنْيَا يُصِيبُهَا أَوْ إِلَى امْرَأَةٍ يَنْكِحُهَا، فَهِجْرَتُهُ إِلَى مَا هَاجَرَ إِلَيْهِ

訳：

アルカマ・ブン・ワッカース・アッ＝ライスィーは言った。私はウマル・ブン・アル＝ハッターブがミンバルの上でこう言うのを聞いた。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。***「行いはただ意図によるものであり、人にはただその意図したものがある。***ゆえに、その移住が手に入れたい現世のもの、あるいは結婚したい女性のためであった者は、その移住はそのために移住したものに向けられる。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アル＝フマイディー・アブドゥッラー・ブン・アッ＝ズバイル ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← ヤフヤー・ブン・サイード・アル＝アンサーリー ← ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・アッ＝タイミー ← アルカマ・ブン・ワッカース・アッ＝ライスィー ← ウマル・ブン・アル＝ハッターブ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』啓示の始まりの書、第 1 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:1

教訓

時に力とは、自分の権力にしがみつくことではなく、より大きな旗の下に団結しようとすることにあります。

ペニョン要塞とアルジェ港の解放

歴史ノート：1529 年

20 年近くにわたり、アルジェの前の小島にあるスペインの***ペニョン***要塞が港をふさぎ、住民を脅かしていました。1529 年 5 月、数週間の砲撃の末、ハイレッディンはついにこの要塞を落としました — 1516 年にオルチが果たせなかったことです。

ハイレッディンはその後要塞を取り壊し、その石で小島と本土を結ぶ***防波堤***を築きました。この防波堤によってアルジェは安全で堅固な港となり、3 世紀にわたって北アフリカのムスリム艦隊の主要な基地となりました。

伝承の等級：1529 年のペニョン攻略と港の防波堤の建設は、オスマン側とヨーロッパ側の史料で確かです。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；同時代のヨーロッパの史料。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒 ﷺ は、遠くまで届く武器の力である射撃の技の大切さを強調されました。

ハディース — サヒーフ・ムスリム、No. 1917

حَدَّثَنَا هَارُونُ بْنُ مَعْرُوفٍ، أَخْبَرَنَا ابْنُ وَهْبٍ، أَخْبَرَنِي عَمْرُو بْنُ الْحَارِثِ، عَنْ أَبِي عَلِيٍّ، ثُمَامَةَ بْنِ شُفَيٍّ أَنَّهُ سَمِعَ عُقْبَةَ بْنَ عَامِرٍ، يَقُولُ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَهُوَ عَلَى الْمِنْبَرِ يَقُولُ " وَأَعِدُّوا لَهُمْ مَا اسْتَطَعْتُمْ مِنْ قُوَّةٍ أَلاَ إِنَّ الْقُوَّةَ الرَّمْىُ أَلاَ إِنَّ الْقُوَّةَ الرَّمْىُ أَلاَ إِنَّ الْقُوَّةَ الرَّمْىُ "

訳：

ウクバ・ブン・アーミルは言った。私は、アッラーの使徒 ﷺ がミンバルの上でこう言われるのを聞いた。 ***「『かれらに対し、あなたがたの力の及ぶ限り武力を備えよ。』まことに力とは射ることである。まことに力とは射ることである。まことに力とは射ることである。」***

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ハールーン・ブン・マアルーフ ← アブドゥッラー・ブン・ワフブ ← アムル・ブン・アル＝ハーリス ← アブー・アリー・スマーマ・ブン・シュファイイ ← ウクバ・ブン・アーミル رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』統治の書、ハディース番号 1917。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:1917

教訓

本当の勝利とは、敵の残骸を役に立つものを築く材料に変えることです。

アンダルスのムスリムのための七度の航海

歴史ノート：1529 年

『戦記』とキャーティプ・チェレビーによれば、1529 年、ハイレッディンは逃れたいと願うアンダルスのムスリム（モリスコ）を運ぶため、スペインの沿岸へ何度か ― 七度とも言われます ― 船を送りました。『戦記』は、その年におよそ 7 万人が救われたと述べています。

この数字は確かめられず、誇張かもしれません。しかし、アンダルスのムスリムを助けるという兄の仕事を受け継いだハイレッディンの努力は、多くの史料が認めています。彼らの多くはアルジェなど北アフリカの町に住みつき、学問と技術をもたらしました。

伝承の等級： アンダルスのムスリム救出の努力はオスマン側の史料に伝えられています。7 万人という数字は不確かです。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

ある人が始めた善い仕事は、他の人が受け継ぐべきです。ハイレッディンはアンダルスのムスリムに対する兄の責任を引き継ぎました。

カプタン・デルヤ：オスマン帝国の大提督

歴史ノート：1533 年

1532 年、皇帝カール 5 世に仕えるジェノヴァの名提督 ***アンドレア・ドーリア***が、ギリシャにあるオスマン帝国のいくつかの要塞を奪いました。***スレイマン 1 世***には彼に対抗できる提督が必要で、ハイレッディンをイスタンブールに呼び寄せました。

ハイレッディンは 1533 年末に艦隊を率いてイスタンブールに到着し、***カプタン・デルヤ***（大提督）および諸島のベイレルベイに任じられました。冬の間、彼はイスタンブールの造船所でオスマン艦隊を建て直し、地中海最強の艦隊としました。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

すべての役職は、問われることになる預かりものです。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 7138 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، حَدَّثَنِي مَالِكٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ دِينَارٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " أَلاَ كُلُّكُمْ رَاعٍ، وَكُلُّكُمْ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، فَالإِمَامُ الَّذِي عَلَى النَّاسِ رَاعٍ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، وَالرَّجُلُ رَاعٍ عَلَى أَهْلِ بَيْتِهِ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، وَالْمَرْأَةُ رَاعِيَةٌ عَلَى أَهْلِ بَيْتِ زَوْجِهَا وَوَلَدِهِ وَهِيَ مَسْئُولَةٌ عَنْهُمْ، وَعَبْدُ الرَّجُلِ رَاعٍ عَلَى مَالِ سَيِّدِهِ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْهُ، أَلاَ فَكُلُّكُمْ رَاعٍ وَكُلُّكُمْ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。***「よく聞きなさい。あなたがたは皆、羊飼いであり、皆その群れについて問われる。人々の上に立つ指導者は羊飼いであり、その民について問われる。*** 男は家族の羊飼いであり、彼らについて問われる。女は夫の家と子どもたちの羊飼いであり、彼らについて問われる。召使いは主人の財産の羊飼いであり、それについて問われる。よく聞きなさい。あなたがたは皆、羊飼いであり、皆その群れについて問われるのである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール・ブン・アビー・ウワイス ← マーリク・ブン・アナス ← アブドゥッラー・ブン・ディーナール ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』裁定の書、第 7138 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:7138

教訓

有能な人を信頼することは、指導者の知恵の一部です。

チュニス：勝利と敗北のあいだ

歴史ノート：1534〜1535 年

1534 年、ハイレッディンはハフス朝のスルタン、ムーライ・ハサンから***チュニス***を奪いました。しかし翌年（1535 年）、皇帝***カール 5 世***が大艦隊を率いて来航し、チュニスを奪い返しました。カール 5 世の兵はチュニスの住民を多数殺害し、捕らえました — その残虐さはヨーロッパの史料自身が描いています。

ハイレッディンは船の一部とともにアルジェへ逃れました。その後まもなく、彼はメノルカ島の***マオン***港を襲い、自らの力が折れていないことを示しました。チュニスでの敗北は苦い教訓でしたが、彼の戦いを止めることはありませんでした。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：
『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；同時代のヨーロッパの史料。

教訓

絶望しない者にとって、敗北は終わりではありません。大切なのは、より賢く立ち上がることです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

沿岸襲撃と捕虜の運命

史料ノート：苦い側面

当時のすべての艦隊と同じく、ハイレッディンの艦隊もイタリア、スペイン、地中海の島々など敵の沿岸を襲い、捕虜を連れ帰りました。ヨーロッパの史料は、リパリ（1544年）などの町から数千人の民間人が捕らえられ、奴隷として売られたと伝えています。同じころ、キリスト教徒の艦隊もムスリムの沿岸に同じことをしており、何千人ものムスリムがヨーロッパの船でガレー船の漕ぎ手の奴隷となっていました。

これは歴史の一部であるため、ここに誠実に記します。イスラーム法は、女性と子どもを殺すことの禁止を含む、厳格な戦争の作法を定めています。当時の戦争の慣習はすべてがこの作法に沿っていたわけではなく、英雄の名のもとに美化することはできません。

伝承の等級： 襲撃と捕縛はヨーロッパ側とオスマン側の史料で確かです。数字は史料によって異なります。

参照：

同時代のヨーロッパの史料；『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒 ﷺ は、戦争で女性と子どもを殺すことを禁じられました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3015 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، قَالَ قُلْتُ لأَبِي أُسَامَةَ حَدَّثَكُمْ عُبَيْدُ اللَّهِ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ وُجِدَتِ امْرَأَةٌ مَقْتُولَةً فِي بَعْضِ مَغَازِي رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، فَنَهَى رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عَنْ قَتْلِ النِّسَاءِ وَالصِّبْيَانِ.

訳：

イブン・ウマルは言いました。アッラーの使徒 ﷺ のある遠征で、一人の女性が殺されているのが見つかりました。***そこでアッラーの使徒 ﷺ は、女性と子どもを殺すことを禁じられました。***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム ← アブー・ウサーマ ← ウバイドゥッラー・ブン・ウマル ← ナーフィウ ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、戦いにおいて女性を殺すことの章、第 3015 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3015

教訓

イスラームにおける英雄らしさは、勝利だけでなく作法によって測られます。歴史の過ちを繰り返さないために、私たちはそれを認めます。

プレヴェザの海戦

歴史ノート：1538 年 9 月 28 日

1538 年、ローマ教皇、ヴェネツィア、スペインなどの国々はオスマン艦隊を滅ぼすため***神聖同盟***を結びました。アンドレア・ドーリアが率いる連合艦隊ははるかに大きく ― 史料は、大型帆船を含む約 300 隻に対し、オスマン側のガレー船は約 120 隻だったと伝えています。

ハイレッディンはギリシャ西岸の***プレヴェザ湾***に停泊し、辛抱強く待ちました。1538 年 9 月 28 日（ヒジュラ暦 945 年ジュマーダー・アル＝ウーラー月 4 日）、風向きが変わり敵艦隊が乱れたとき、彼は出撃しました。海戦はオスマン帝国の勝利に終わり、敵の船数隻が拿捕または撃沈され、アンドレア・ドーリアは退却しました。この勝利によって、東地中海は 30 年以上にわたりオスマン帝国の支配下に置かれました。

伝承の等級： プレヴェザでの勝利は確かです。艦船の数と損害は史料によって異なります。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』；同時代のヨーロッパの史料。

アッラーは、敵に立ち向かうときの服従と団結と忍耐を命じておられます。

戦利品章 8:46

وَأَطِيعُوا۟ ٱللَّهَ وَرَسُولَهُۥ وَلَا تَنَٰزَعُوا۟ فَتَفْشَلُوا۟ وَتَذْهَبَ رِيحُكُمْ ۖ وَٱصْبِرُوٓا۟ ۚ إِنَّ ٱللَّهَ مَعَ ٱلصَّٰبِرِينَ ﴿٤٦﴾

あなたがたはアッラーと使徒に従いなさい。そして論争して意気をくじかれ，力を失なってはならない。耐えなさい。アッラーは耐え忍ぶ者と共におられる。

訳：三田了一 — quran.com/8:46

そして海で船を走らせるのはアッラーです。

夜の旅章 17:66

رَّبُّكُمُ ٱلَّذِى يُزْجِى لَكُمُ ٱلْفُلْكَ فِى ٱلْبَحْرِ لِتَبْتَغُوا۟ مِن فَضْلِهِۦٓ ۚ إِنَّهُۥ كَانَ بِكُمْ رَحِيمًا ﴿٦٦﴾

主こそは船をあなたがたのため海に航行させ，かれの恩恵を求めさせる方である。本当にかれは，あなたがたに対しいつも慈悲深くあられる。

訳：三田了一 — quran.com/17:66

教訓

団結と忍耐は、より多い数に打ち勝つことができます。争いと焦りは隊列を弱めます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヴェネツィアとの条約

歴史ノート：1540 年

プレヴェザの後、ヴェネツィアは和平を求めました。1540 年、オスマン帝国とヴェネツィアの間で条約が結ばれ、ヴェネツィアはギリシャのいくつかの要塞を手放し、賠償金を支払いました。両者の交易は再開されました。

この条約は、戦争の目的が単に敵を滅ぼすことではなく、公正な平和を実現することにあると示しています。ムスリムは結んだ条約を守る義務があります。

伝承の等級： 主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：

キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』；同時代のヨーロッパの史料。

アッラーは、敵が和平に傾くなら和平を受け入れるよう命じておられます。

戦利品章 8:61

۞ وَإِن جَنَحُواْ لِلسَّلۡمِ فَٱجۡنَحۡ لَهَا وَتَوَكَّلۡ عَلَى ٱللَّهِۚ إِنَّهُۥ هُوَ ٱلسَّمِيعُ ٱلۡعَلِيمُ ٦١

だがかれらがもし和平に傾いたならば，あなたもそれに傾き，アッラーを信頼しなさい。本当にかれは全聴にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/8:61

そしてアッラーの使徒 ﷺ は、盟約を結んだ者を殺すことを厳しく戒められました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3166 番

حَدَّثَنَا قَيْسُ بْنُ حَفْصٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَاحِدِ، حَدَّثَنَا الْحَسَنُ بْنُ عَمْرٍو، حَدَّثَنَا مُجَاهِدٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو ـ رضى الله عنهما ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ قَتَلَ مُعَاهَدًا لَمْ يَرِحْ رَائِحَةَ الْجَنَّةِ، وَإِنَّ رِيحَهَا تُوجَدُ مِنْ مَسِيرَةِ أَرْبَعِينَ عَامًا ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・アムルの伝えるところでは、預言者 ﷺ はこう言われました。

「ムアーハド（ムスリムと協定を結んだ非ムスリム）を殺した者は、楽園の香りをかぐことはない。その香りは 40 年の道のりの距離からでも感じられるのに。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：カイス・ブン・ハフス ← アブドゥルワーヒド・ブン・ズィヤード ← ハサン・ブン・アムル ← ムジャーヒド・ブン・ジャブル ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジズヤの書、第 3166 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3166

教訓

本当の力があればこそ、誇りをもって平和を選ぶことができます。条約を守ることはイスラームの品性の一部です。

アルジェの嵐（1541 年）

歴史ノート：天からの助け

1541 年 10 月、皇帝カール 5 世自らが、500 隻を超える艦隊と約 2 万 4,000 人の兵を率いてアルジェに来航し、ハイレッディンの基地を一掃しようとしました。ハイレッディンはそのときイスタンブールにおり、アルジェは代理の***ハサン・アー***がはるかに小さな兵力で守っていました。

カール 5 世の兵が上陸して間もなく、恐ろしい嵐が襲いました。豪雨が火薬を湿らせ、大波が 100 隻以上の船を打ち砕きました。アルジェの人々は反撃し、カール 5 世は大きな損害を出して撤退を余儀なくされました。ムスリムたちはこの嵐をアッラーの助けと見ました。

伝承の等級： 1541 年のカール 5 世の遠征が嵐のために失敗したことは、ヨーロッパ側とオスマン側の史料で確かです。

参照：

同時代のヨーロッパの史料；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

勝利はいつも人間の力から来るわけではありません。アッラーは思いもよらない方法で助けを下すことがおできになります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ニースとトゥーロン：フランスとの同盟

歴史ノート：1543〜1544 年

フランス王*フランソワ 1 世*は当時カール 5 世と争っており、スレイマン 1 世と同盟を結んでいました。1543 年、ハイレッディンはフランスを助けるため艦隊を西へ進め、フランス軍とともに、カール 5 世の同盟者が支配する*ニース*の町を包囲しました。

1543 年から 1544 年の冬、ハイレッディンの艦隊は、フランス王がオスマン軍のために明け渡した南フランスの*トゥーロン*港で越冬しました。言い伝えによれば、その冬の間、町ではアザーン（礼拝の呼びかけ）が響いていたといいます。この同盟はヨーロッパで激しく非難され、当時の政治が必ずしも宗教の線に沿っていなかったことを示しています。

伝承の等級： ニース包囲とトゥーロンでの越冬は確かです。トゥーロンのアザーンの話は言い伝えです。

参照：

同時代のヨーロッパの史料；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

教訓

国と国との政治はしばしば複雑です。ムスリムは歴史を白か黒かだけでなく、その複雑さのすべてとともに理解すべきです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

回想録、ワクフ、マドラサ

歴史ノート：剣を超えた遺産

晩年、ハイレッディンは書き手の***セイイド・ムラーディー***に、兄弟とともに戦った物語を記録するよう頼みました。こうして生まれた『***ハイレッディン・パシャ戦記***』はオスマン海軍史の主要な史料の一つですが、一族を称えるために書かれたものでもあります。

彼はまたイスタンブールにモスク、マドラサ（学院）、ハマム（浴場）を建て、財産を慈善のためにワクフ（寄進）しました。晩年はボスポラス海峡のほとりの邸宅で過ごしました。

伝承の等級：主に『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディーが記したハイレッディンの回想録）、キャーティプ・チェレビーの著作、同時代のヨーロッパの史料など歴史書に伝えられていますが、ハディース学者の基準による伝承経路（イスナード）はありません。歴史として受け入れられますが、真正なハディースのように典拠とすることはできません。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』（セイイド・ムラーディー）；キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

施しは財産を減らさず、謙虚さは人の位を高めます。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ " .

訳：

アブー・フライラによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「施しは財産を減らさない。アッラーは、赦すしもべに尊さ以外のものを増し加えられない。そしてアッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイード、アリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書、第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:2588

教訓

英雄の遺産は戦場の勝利だけでなく、書き残された知識と、恵みを与え続けるワクフでもあります。

死去とベシクタシュの霊廟

歴史ノート：1546 年

ハイレッディンはヒジュラ暦 953 年（西暦 1546 年 7 月 4 日）、約 68 歳でイスタンブールにて亡くなりました。彼はボスポラス海峡のほとりの***ベシクタシュ***に、オスマン帝国の大建築家***ミマール・スィナン***が建てた霊廟に葬られました。

言い伝えによれば、何世紀にもわたり、オスマン海軍の船は海へ出る前に彼の霊廟の前を通るとき敬礼をしたといいます。今日、霊廟の近くには彼の像と海軍博物館があり、その名はアルジェリアとトルコの歴史に残っています。

伝承の等級：死去の日付と霊廟は確かです。船の敬礼の話は言い伝えです。

参照：

キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』；現代の歴史研究。

教訓

どの英雄もやがてアッラーのもとへ帰ります。残るのは行いと、後に残した善い記憶です。

検討が必要な話と数字

史料ノート：事実と伝説のあいだ

ハイレッディンの物語のいくつかの点は慎重な検討が必要です。***第一に***、『ハイレッディン・パシャ戦記』はハイレッディン自身の求めで書かれたため称賛に傾きがちで、ヨーロッパの史料は敵が書いたものです。***第二に***、プレヴェザの艦船の数や救われたアンダルスのムスリムの数は史料によって異なり、確かめるのは困難です。***第三に***、「ハイレッディン」の称号がセリム 1 世から与えられたのかスレイマン 1 世からなのかは、正確にはわかりません。

第四に、ヨーロッパの史料の「海賊」という呼び名は、キリスト教側の同じ行為を無視しているため公正ではありませんが、沿岸襲撃と民間人の奴隷化を美化することはできません。***第五に***、トゥーロンのアザーンや霊廟での船の敬礼の話は言い伝えです。確かなことは、アルジェのオスマン帝国への帰属（1519 年）、ペニョン攻略（1529 年）、カプタン・デルヤへの任命（1533 年）、プレヴェザでの勝利（1538 年）、そしてイスタンブールでの死去（1546 年）です。

伝承の等級： 主な出来事は確かですが、細部の多くは言い伝えか議論の対象です。

参照：

『ハイレッディン・パシャ戦記』、キャーティプ・チェレビー、ヨーロッパの史料、現代の歴史研究の比較。

教訓

本当の英雄に伝説はいりません。確かな事実だけで模範として十分です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハイレッディンの物語の典拠

この表は、読者が真正なものと単に有名なものとを区別できるよう、それぞれの話の典拠と等級をまとめたものです。

話	典拠	等級
ミディッリ島のヒズル	『戦記』；キャーティプ・チェレビー	歴史
アルジェをセリム 1 世に帰属（1519 年）	『戦記』；キャーティプ・チェレビー	確か
行いは意図による	『サヒーフ・ブハーリー』1	真正
ペニョン攻略（1529 年）	『戦記』；ヨーロッパの史料	確か
力とは射撃である	『サヒーフ・ムスリム』1917	真正
アンダルスのムスリム 7 万人の救出	『戦記』	数字は不確か
カプタン・デルヤ（1533 年）	『戦記』；キャーティプ・チェレビー	確か
あなたがたは皆、羊飼いである	『サヒーフ・ブハーリー』7138	真正
チュニスの喪失（1535 年）	ヨーロッパの史料	確か
沿岸襲撃と捕虜	ヨーロッパの史料；『戦記』	確か；数字は異なる
女性と子どもを殺すことの禁止	『サヒーフ・ブハーリー』3015	真正
プレヴェザでの勝利（1538 年）	諸史料	確か；数字は異なる
ヴェネツィアとの条約（1540 年）	キャーティプ・チェレビー；ヨーロッパの史料	確か
盟約を結んだ者を殺すこと	『サヒーフ・ブハーリー』3166	真正
アルジェの嵐（1541 年）	ヨーロッパとオスマンの史料	確か

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

話	典拠	等級
トゥーロンのアザーン	言い伝え	不確か
施しは財産を減らさない	『サヒーフ・ムスリム』2588	真正
霊廟での船の敬礼	言い伝え	不確か

人物、場所、年表

人物	役割
オルチ・レイス	ハイレッディンの兄；1518 年に戦死
セリム 1 世	アルジェをオスマン帝国の州として受け入れた
スレイマン 1 世	ハイレッディンを大提督に任命した
アンドレア・ドーリア	神聖同盟艦隊を率いたジェノヴァの提督
カール 5 世	神聖ローマ皇帝、スペイン王
フランソワ 1 世	フランス王、オスマン帝国の同盟者
ハサン・アー	アルジェを守ったハイレッディンの代理（1541 年）
セイイド・ムラーディー	『ハイレッディン・パシャ戦記』の著者
ミマール・スィナン	ハイレッディンの霊廟を建てた建築家

場所	出来事
ミディッリ島（レスボス島）	ハイレッディンの生地
アルジェ	主要な基地；1529 年にペニョンを攻略
イスタンブール	カプタン・デルヤに任命（1533 年）
チュニス	1534 年に奪取；1535 年に喪失
プレヴェザ	1538 年の海戦の勝利
ニースとトゥーロン	フランスとの同盟（1543〜1544 年）
ベシクタシュ	ハイレッディンの霊廟

年	出来事
1478 年ごろ	ミディッリ島でヒズル誕生
1518 年	オルチの殉教；ヒズルがアルジェを率いる
1519 年	アルジェがオスマン帝国の州となる

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年	出来事
1529 年	ペニョン攻略；アンダルスのムスリム救出の航海
1533 年	カプタン・デルヤに任命
1534〜1535 年	チュニスを奪取、その後喪失
1538 年	プレヴェザの海戦
1541 年	カール 5 世のアルジェ遠征が失敗
1543〜1544 年	ニースとトゥーロン
1546 年	イスタンブールで死去

ハイレッディン・バルバロッサについてのよくある質問

この章では、ハイレッディン・バルバロッサについてよくある質問に答えます。答えは簡潔で、詳しくは前の章にあります。

1. ハイレッディン・バルバロッサとは誰ですか？

オルチ・レイスの弟で、アルジェの指導者、オスマン帝国の大提督。1546 年にイスタンブールで亡くなりました。

2. 本名は何ですか？

ヒズルです。「ハイレッディン」は「宗教の善」を意味する称号です。

3. なぜアルジェをオスマン帝国に帰属させたのですか？

スペインに対抗するため、より大きなイスラームの国家の保護と援助を得るためです。

4. ペニョンとは何ですか？

アルジェの前にあったスペインの要塞で、1529 年に彼が攻略しました。

5. カプタン・デルヤとはどういう意味ですか？

オスマン艦隊の大提督です。

6. プレヴェザの海戦はいつですか？

1538 年 9 月 28 日です。

7. プレヴェザでの敵は誰でしたか？

アンドレア・ドーリアが率いる神聖同盟の艦隊です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. 彼は海賊だったのですか？

国家の提督でした。沿岸襲撃は双方が行っていましたが、美化できない民間人の捕縛を伴っていました。

9. なぜフランスと同盟したのですか？

フランスとオスマン帝国には、カール 5 世という共通の敵がいたからです。

10. 『ハイレッディン・パシャ戦記』とは何ですか？

彼の求めでセイイド・ムラーディーが書いた、彼の戦いの回想録です。

11. 霊廟はどこにありますか？

イスタンブールのベシクタシュにあり、ミマール・スィナンが建てました。

12. 彼の物語の最大の教訓は何ですか？

戦争の作法を守りながら、団結と忍耐と誠実さをもって戦いを受け継ぐことです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

ハイレッディンの物語は、兄の戦いを受け継ぎ、アルジェをより大きなイスラームの国家と結びつけ、オスマン艦隊を地中海最強にした弟の物語です — ただし、誠実に検討すべき点も含んでいます。

教訓	ハイレッディンの物語から
決断における意図	アルジェのオスマン帝国への帰属；『サヒーフ・ブハーリー』1
力の備え	ペニョンと大砲；『サヒーフ・ムスリム』1917
役職は預かりもの	カプタン・デルヤ；『サヒーフ・ブハーリー』7138
戦争の作法	捕虜の運命；『サヒーフ・ブハーリー』3015
団結と忍耐	プレヴェザ；戦利品章 8:46；夜の旅章 17:66
条約を守ること	ヴェネツィア；戦利品章 8:61；『サヒーフ・ブハーリー』3166
知識とワクフの遺産	『戦記』とマドラサ；『サヒーフ・ムスリム』2588
敗北の後に立ち上がる	チュニスとマオン

戦いへの忠誠、正しい時を待つ忍耐、より大きな旗の下に団結しようとする心においてハイレッディンに倣い、その物語の検討すべき点からも学ぶことができますように。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、トリポリを解放した提督トゥルグト・レイスの物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン版の正書法と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（戦利品章 8:46、8:61；夜の旅章 17:66）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』1、3015、3166、7138。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1917、2588。sunnah.com/muslim

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

歴史書と研究

セイイド・ムラーディー『ハイレッディン・パシャ戦記』。

キャーティプ・チェレビー『海の遠征についての偉人たちへの贈り物』。

ディエゴ・デ・アエド『アルジェの地誌と通史』。

アーンル・ブラッドフォード『スルタンの提督：バルバロッサの生涯』。

ハリル・イナルジク『オスマン帝国：古典期 1300〜1600 年』。

トルコ宗務庁財団『イスラーム百科事典』「Preveze Deniz Muharebesi」。islamansiklopedisi.org.tr/preveze-deniz-muharebesi

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 27 巻：オルチ・レイスまで。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience